

大環境第 e-733 号
令和 6 年 2 月 29 日

大阪府知事 吉村 洋文 様

大阪市長 横山 英幸

南港発電所更新計画に係る環境影響評価方法書についての
環境の保全の見地からの意見について（回答）

令和 5 年 11 月 21 日付け環保第 1784 号により照会のあった標題について、
別紙のとおり回答します。

南港発電所更新計画に係る環境影響評価方法書に関する市長意見

大阪市環境影響評価専門委員会の検討結果報告書の内容を踏まえ検討した結果、本事業の環境影響評価を実施するにあたっては、次に掲げる事項に十分配慮することが必要と考えます。

記

〔全般事項〕

本事業では、最新鋭の高効率 GTCC へ設備変更により二酸化炭素排出量の削減に寄与しているが、気候変動に関する国際的取組みを踏まえ、ゼロカーボン燃料への転換など化石燃料からの脱却に向けた具体的な方策の方向性について検討すること。

〔景 観〕

全体としてまとまりが感じられるシルエットとなるよう、煙突だけでなくその他発電設備等も予測に含め、デザインや色彩についても検討を加えた上で、評価すること。

〔温室効果ガス等〕

二酸化炭素の年間排出量の算出にあたっては、既設発電所の年間利用率を適切に設定するとともに、本事業において予測対象時期としている運転が定常状態となる時期の年間利用率の根拠を明らかにした上で、準備書において予測及び評価を行うこと。